

こやまの小旅

太田道灌墓巡りと三宮比々多神社

太田道灌の墓が、4か所あるのに興味をもち伊勢原の大慈寺と洞昌院、2か所と比々多神社へ。

- ◆龍隠寺(埼玉県越生町) 分骨された墓があり父、太田道真と眠る。
- ◆英勝寺(鎌倉) 源氏山の中腹にあります。(首塚)

《大慈寺・首塚》

叔父である建長寺の長老周巖禅師が、鎌倉から首を移し、伊勢原に供養塔を建立されました。



大慈寺(首塚)



かわいい大きさでびっくり

太田道灌は、有能さが、上杉家宗家の山内上杉顕定によって疎まれ、謀反を起こすという嘘を信じた

主君上杉定正に、よって暗殺されたと…

文明18年定正の居館である、伊勢原の出来事でした。享年54歳

- ◆「太田道灌の3名城」 同時期に築城・26歳で江戸城主になる。

- ◎江戸城… 現、皇居
- ◎川越城… 明治時代取壊し
- ◎岩槻城… 台地に築城。城跡地は現、公園

《高部屋神社》

住吉大臣が祀られ入母屋造りの茅拭き、正面の柱には、龍が巻付き亀浦島太郎、乙姫の彫刻が彫られている。



高部屋神社



高部屋神社本殿

《洞昌院・胴塚》

太田左衛門太夫持資入道道灌は、剃髪後に、太田道灌となり、開基。



経典を納めた墓碑



洞昌院(胴塚)

太田道灌は、2代に渡り扇谷上杉家の家臣を務め活躍し、それと共に扇谷家の勢力も増し、道灌の威望も絶大なものになる。主君に暗殺されたことに違いはないがいろいろな説があります。

- ・主君が下剋上を恐れた。
- ・道灌が、謀反を企てた。
- ・山内顕定の画策に主君がのってしまった。

どれが、本当なのか？

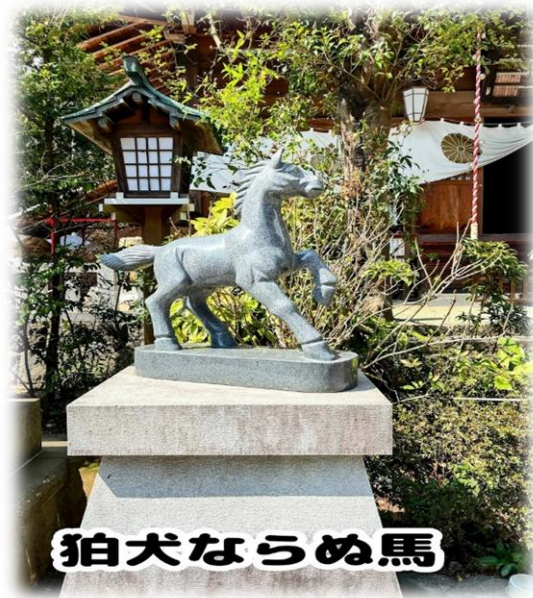


《南蓮寺》

芝増上寺の支配下にある末寺
西光恵慶が開山。本尊は阿弥陀如来像
間違えて行ったお寺でした。
下糟屋村の鎮守様です。



《三宮比々多神社》



比々多伝記（1834年）によれば、神武天皇の天下泰平の際に、人々を守るために建立。

参拝の契によれば、紀元前655年、大山を神体山として豊国主尊（とよくにぬしのみこと）を日本国霊として、祀った。遺跡遺物からの推測として、10000年以上前の神社信仰に遡ると、あります。

何故入り口に馬なのか？伺いました。

毎年の干支で、替えるそうです。今年は午年で、納得。

参拝者の見張り役を担い、神様の守護を司り、動物をモチーフにしたものが多いそうです。



菊紋は、天皇、皇室専用の紋で特別高い格式を持ち、一般人の使用は明治2年使用を禁じました。

桐の紋は、古くから公家、武家等で使われ「通紋」として一般でも多く用いられました。現代の感覚では、菊＝天皇・皇室。桐＝菊以外の格式高いというイメージを持ちます。

29000歩 15kmに及び、疲れました。

6年生 小山久仁子